

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	利用者の高齢化もあって、重度化した場合のホームでの指針が、今までの体制では十分対応しきれなくなってきた。 医療の受け入れ体制も変わってきており、見直し、確認が必要となっている。	職員みながホームでの体制、指針を理解出来る。 職員がケアとして現場でとり組める事を考えていく。	・ホームとしての指針、対応出来ること、出来ないことの確認を行う。 ・日頃から家族との連絡を密にする。 ・重度化の場合を予測し、早期から本人・家族の意向の確認、話し合いの場を持つ。記録に残していく。	6カ月
2	6	身体拘束や、事故発生等の各種マニュアルを職員みなが正確に理解出来ていない。	一部の職員だけでなく、全職員がマニュアルを正しく理解し活用する事が出来る。	・各委員会、リーダー会等にて各種マニュアルの見直し変更する。 ・マニュアルを職員の目の届くところに掲示する。 ・勉強会を行っていく。	12カ月
3	13	防火・災害対策について、一番身近な近所の方との協力体制が出来ていない。 防火・災害対策委員会を作っているが、まだ十分に活動出来ていない。	防火・災害対策委員会のメンバーが中心となり、活動していくことで、職員の防火・災害対策への意識が少しずつも高くなる。	・防火・災害対策委員会を定期的に開催する。 ・委員会での活動内容を具体的に決めていく。(年間計画・勉強会・研修等) ・マニュアル(連絡網)の定期的な見直し ・地域の人とのつながりを作っていく方法を考える。	12カ月
4	4	運営推進会議に多くの方の参加があるが、管理者以外の職員の会議に対する意識は低く、日々の業務に生かす工夫が行えていない。また、記録や周知が不十分である。	運営推進会議からあがったさまざまな意見をスタッフみな把握し、日々のケアの取り組みに生かすことが出来る。 職員が地域とのつながりを強く持つことが出来る。	・会議での報告内容の見直し ・ホーム内での取り組みを報告する。 ・会議の内容を議題を立てて話し合う機会を持つ。 ・会議の記録をしっかり残し、他職員に報告・周知する。	12カ月
5					カ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。
評価結果の通知を受けた日から概ね2週間から30日以内に作成し、市町と評価機関に提出して下さい。(提出必須)